

昭和二年五月十五日印刷  
昭和二年五月十六日發行

(定價金八錢)

# 東京中央電話局

東京市日本橋區三代町二十番地

印刷者 今井彦太郎

追加番号簿は本電話番号簿より先きに御覧下さい

昭和二年度

# 東京電話番号簿

(追加第一號)

## 東京中央電話局

(麹町區錢瓶町)

追加番号簿は毎號右端に著色して其の號數を區別し易くしてあります

此の追加番号簿は八月下旬頃配付すべき本電話番号簿と併せて使用して下さい

本番号簿には下記のことを登載してあります

◎銀座、青山、高輪局より芝局へ所屬替となるべき加入者

所屬替實施は……………七月三日(二日夜半)

◎浪花局共同線及連接加入にして茅場町局へ所屬替となるべき加入者

所屬替實施は……………七月三日(二日夜半)

### 注 意

- ◎大正十五年度電話番号簿及同追加番号簿中電話番号、氏名の誤謬、掲載洩、掲載箇所相違のものを本追加簿の最終に正誤表として登載して置きました。
- ◎芝局區域略圖及町名は本表紙裏面に掲載してありますから御参照下さい。
- ◎茅場町局所屬地域内の共同線及連接加入者で機械設備の關係上浪花局に残置したものを今回全部同局へ所屬替致しました。

追加番号簿は本電話番号簿の上に順々に綴込んで下さい

銀座局、高輪局及青山局の芝局へ所属変更セラルキ地域圖

**凡 例**

銀座局の芝局へ所属変更セラルキ地域圖

高輪局の芝局へ所属変更セラルキ地域圖

青山局の芝局へ所属変更セラルキ地域圖

分局界

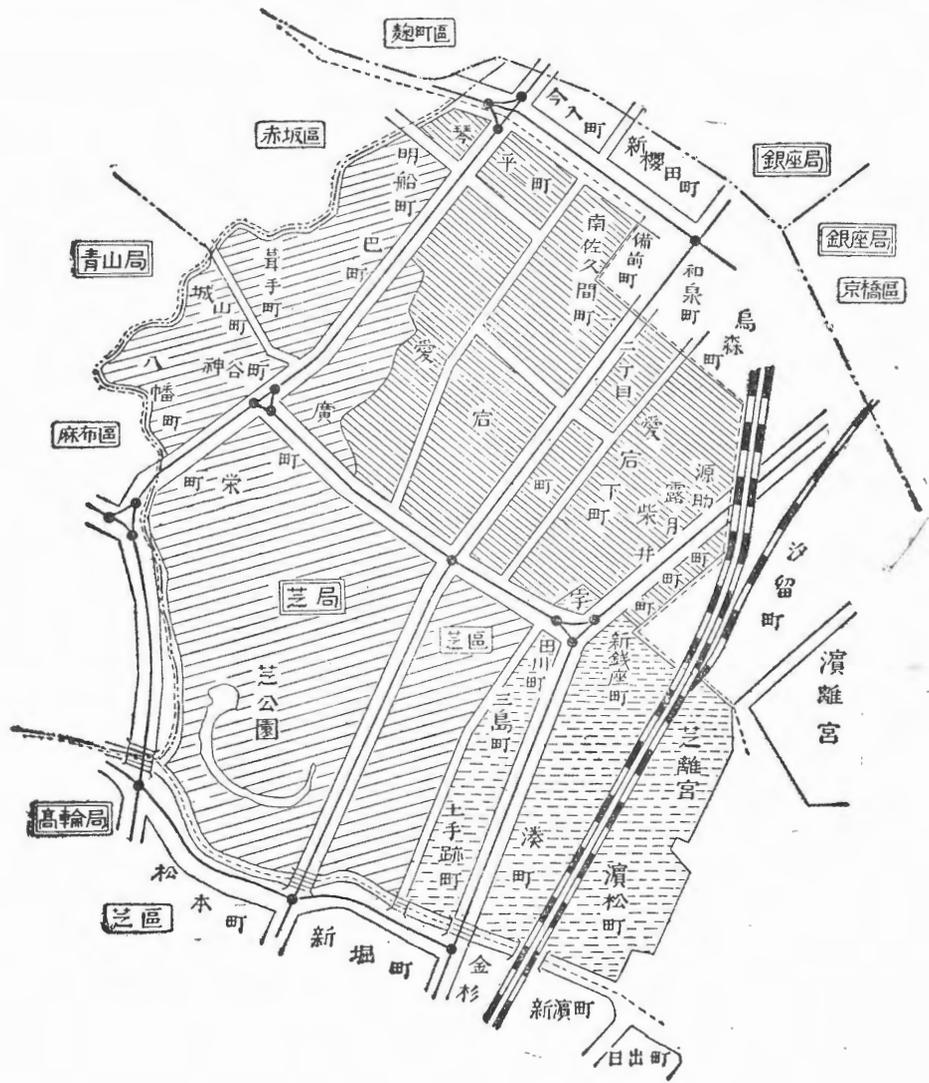
区内電車

道

河川溝渠及橋

鉄道及省線電車

- 銀座局へ芝局へ所属変更セラルキ町名
- 愛宕町三丁目  
愛宕下町(頭三丁目)  
源助町  
露月町  
柴井町
- 高輪局へ芝局へ所属変更セラルキ町名
- 宇田川町  
宇田川横町  
北金杉河岸  
七軒町  
神明町  
新網町北側  
新網町南側
- 芝局へ芝局へ所属変更セラルキ町名
- 愛宕町(三丁目)  
芝公園  
西久保船場町  
西久保神谷町  
西久保廣町  
西久保算手町
- 芝局へ芝局へ所属変更セラルキ町名
- 西久保城山町  
西久保八幡町  
西久保廣町  
西久保算手町
- 芝局へ芝局へ所属変更セラルキ町名
- 宮本町  
三島町  
浜崎町  
三島町(頭三丁目)  
中門前町(頭三丁目)  
土手跡町  
新銀座町



## アイウエオ順索引

部	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
頁	一	六	一〇	一三	一七	一九	二一	二四		二六
部	イ <small>(キ)</small>	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ		リ	
頁	二	七	二一	一五	一八	二〇	二三		二六	
部	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	
頁	三	八	一二	一五	一八	二〇	二三	二五		
部	エ <small>(セ)</small>	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ	
頁	四	八	一三	一六	一九	二一	二四			
部	オ <small>(カ)</small>	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	
頁	四	九	一三	一六	一九	二一	二四	二五	二六	

# 芝分局復舊に就ての御注意

## (1)手働式の青山、銀座、高輪の各局から 自働の式芝局へ所屬替となる加入者へ

### ◎自働式電話の扱方

自働式電話の扱方や注意に就ては、電話番号簿(二六頁  
四三頁)及先に送附しました小冊子(自働式電話の扱方と智識)にも詳しく書いてありますので加入者各位は既に之等をお読みになつて、總ての場合の扱方を承知して居られる事と考へますから、茲に重ねて説明することを差控へます。  
併し萬が一にも、まだ之をお読みにならぬ方がありましたならば、よくお読みになつて、使用に差支へなきやう扱方を會得して頂きたいのです。

### ◎自働式電話の練習

申す迄もなく自働式の電話は、其の扱方を知らぬと全く使用することが出来ません。尤も大體の扱方は書いたものを見て會得することは出来ますが、實際に使つて始めて完全なる使用方法が會得されるので、一度の練習もせず、突然に使用方法の違ふ電話を取扱ふことは間違ひを起す基でもあり、無駄な料金を拂ふ事にもなり又多數加入者に迷惑を及ぼすことにもなりますから、實際使用を始められる前に是非練習して頂きたう御座います。

### ◎自働式電話の練習設備

今回所屬替加入者の練習の爲に、下記の所へ臨時に自働式電話練習場を設け、局員が詳細の説明を致しますから、御不審の點は遠慮なく聞き質して頂きたう存じます。

芝 區 愛 宕 町

### ◎練習場所

芝 電 話 分 局 内

### 練習期間

(自六月二十六日) 七 日 間  
(至七月二日)

### 練習時間

(自午前八時)  
(至午後五時)

## (2)加入者竝に電話使用者へ

◎震災後芝電話分局は一時交換業務を休止して居りましたが、此度自働式局として七月三日(七月二日夜半)より交換業務を開始することになりました。夫れで舊芝分局所屬の加入者で震災後收容力の關係で一時止むなく青山、銀座、高輪の各局へ分屬して居りました加入者中二千二百餘名は、今回芝分局の開局と同時に、同局へ所屬替になります。其の町名は表紙裏に地圖と共に掲載してありますから、同方面へ電話をお掛けになる方々は一應此の追加番號簿をお調べになり、無くなつた電話番號を呼ばぬ様に御注意を願ひます。